



YOUR  
VISIONS.  
PERFECTLY  
REALIZED.

Vectorworks® 2014

FIND OUT WHAT'S NEW



# 目次

05	WHAT'S NEW IN VECTORWORKS 2014
06	優れた 3D モデリング
08	高まる BIM 性能
10	効率性の向上
14	ファイル相互運用性の向上
17	土木造園設計
21	舞台照明設計
23	より高度なスクリプト記述
25	強力なレンダリングツール
26	VECTORWORKS サービスセレクト
27	VECTORWORKS 2014 新機能マトリックス

## COLOR KEY

本文内の各機能が、どの製品に搭載されているかを、以下の製品別 COLOR KEY で表記しています。

<b>F</b> Vectorworks Fundamentals	<b>A</b> Vectorworks Architect	<b>L</b> Vectorworks Landmark
<b>S</b> Vectorworks Spotlight	<b>D</b> Vectorworks Designer	<b>R</b> Renderworks



# WHAT'S NEW IN VECTORWORKS 2014

デザインのクリエイティブ要素は、設計プロセス全体の中でも最も重要なポジションにあります。私たちは、デザイナーがアイデアを簡単に正確に、そして効率的に形にし、クライアントの心を動かすプレゼンテーションができるソフトウェアの提供に邁進し続けています。Vectorworks®は、時間、ワークフロー、そしてビジネスへの高まる需要を満たす効率性を生み出し、自由な発想の具現化を手助けします。

バージョン2014では、広範囲にわたるデザインに焦点を置いた新機能と多くのワークフロー改善に気づくでしょう。それらは、より高度なコラボレーションを実現する機能にはじまり、よりパワフルな3Dモデリング、より高品位な結果を生み出すレンダリング関連ツール、より詳細な2D表示制御、さらに柔軟になった開発環境にまで至ります。Vectorworks®2014は、あなたのクリエイティブな感性を刺激し、デザインワーク全体を高めていきます。

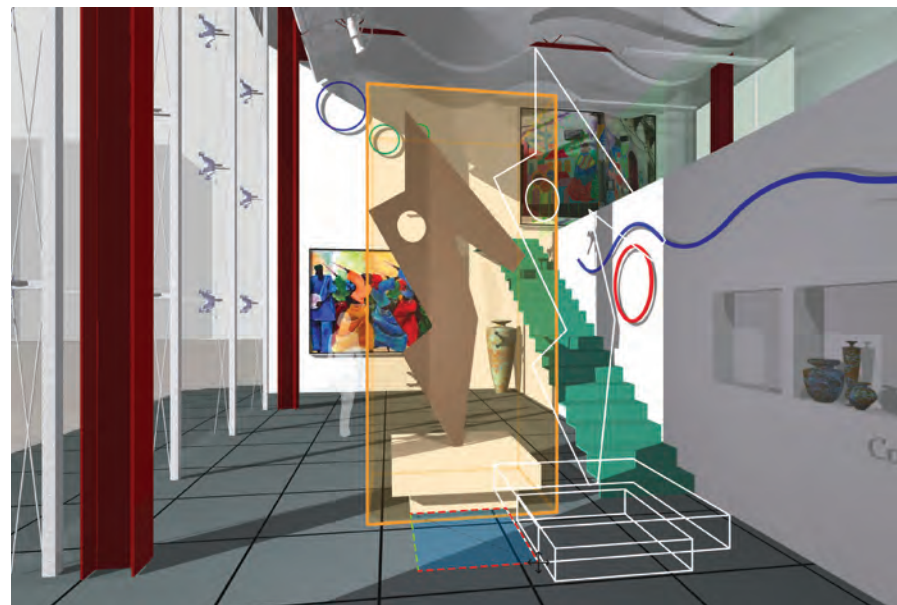
## 優れた3Dモデリング

デザイナーは、図面を3Dビューで見るだけでなく、3Dモデリング自体を頻繁に行うようになってきています。業界トップのモデリングコアであるParasolid®をベースに、VectorworksはNURBSとソリッドモデルを併合した環境で、正確性や完全性の検証などといった面倒なディテールに費やす時間を減らし、もっと多くの時間を実際の設計に費やせる環境を提供しています。今回のリリースにおいても、引き続き3Dモデリングの性能に多くの機能向上を追加しています。あなたがもし3Dモデリングをするようなことがあれば、使いやすいレンダリング3Dナビゲーションや高速なウォークスルー、新しいツイストとテーパーツール、X線モードテクノロジーといった最新の性能を気に入り、頻繁に使用していただけることでしょう。

### 高速なインタラクティブ表示

Vectorworks ソフトウェア上での3Dモデル操作の主体は、これまで「ワイヤーフレーム」で実行されてきました。それにより、ウォークスルーやパン、ズームなどの表示速度をストレスなく使用されてきたことでしょう。しかし、このワイヤーフレームではより大きくて複雑なモデル上には適さず、必要な表示を得ることはできません。バージョン 2014 では、「OpenGL」を使用すると、すべての3Dビューナビゲーションで驚くほどのOpenGLレンダリング状態を維持します。そして、すべてのソリッド系レンダリングでより高品位なレンダリング結果を得られます。また、OpenGLで生成されたキャッシュは、他のレンダリングにも影響し、3Dビューナビゲーションを向上させます。加えて、統合型レンダリングアプリケーション - Renderworks® を使用すると、インタラクティブな光源に焦点を置いた素早いOpenGLシャドウをデフォルトで表示します。これからは性能やスピードを犠牲にすることなく3Dレンダリングを満喫することができます。

F A L S E D R

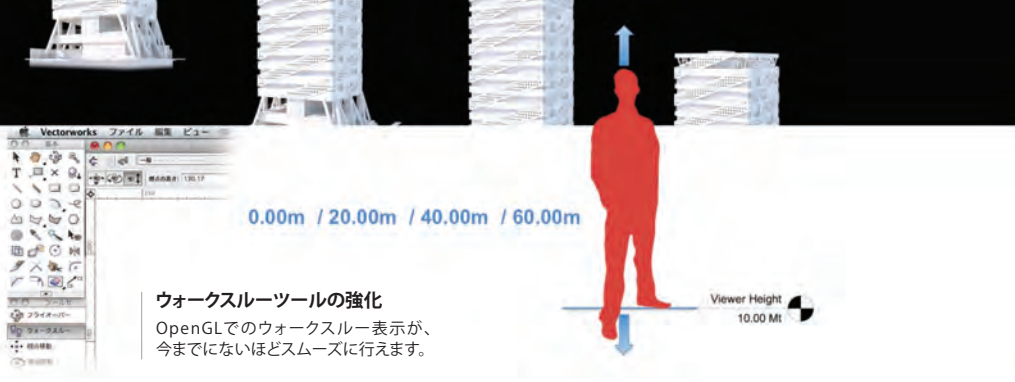


### 高速なインタラクティブ表示

レンダリング状態の維持性能が向上し、マウス操作速度を犠牲にすることなく、ウォークスルー、パン、ズーム、選択、移動、編集など、3D表示状態での各操作が格段に向上しています。

### テーパーツール

簡単な操作で3Dモデルに対して、テーパーをかけることができます。



**ウォークスルーツールの強化**  
OpenGLでのウォークスルー表示が、今までにないほどスムーズに行えます。

**ウォークスルーツールの強化**

OpenGLウォークスルーがより快適になり、ツール各モードが3つに統合、マウス+キーで操作可能になりました。視点の高さも数値設定できます。

**F A L S D**

**X線セレクトモード**

新しいX線セレクトモード(Bキー)は、2Dに加え、3Dモデルでも機能し、カーソル回りのエリアを透過させてモデル内部を見ることができます。

**F A L S D**

**2D画面回転と3Dビュー**

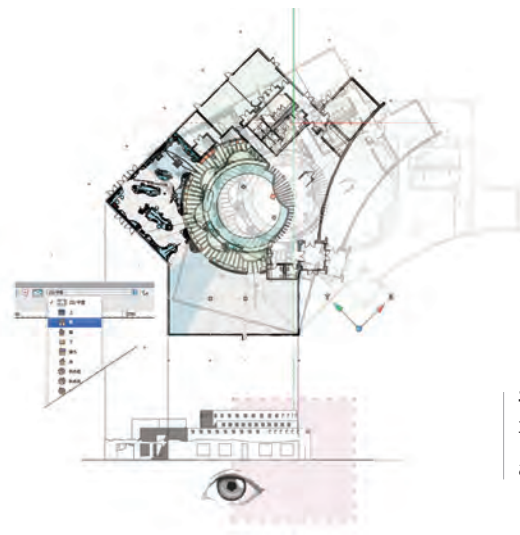
表示バー上の3Dビューリストには、2D/平面と3D各ビューに加えて、「2D/平面:回転」が追加されました。平面の回転状態から3Dビューに、3Dビューから平面の回転状態へと、簡単に行き来できるようになりました。

**A L S D**

**テーパツール**

固定軸に接する面とテーパをかけたい面をクリックしていくことで、簡単にテーパが行えます。

**F A L S D**

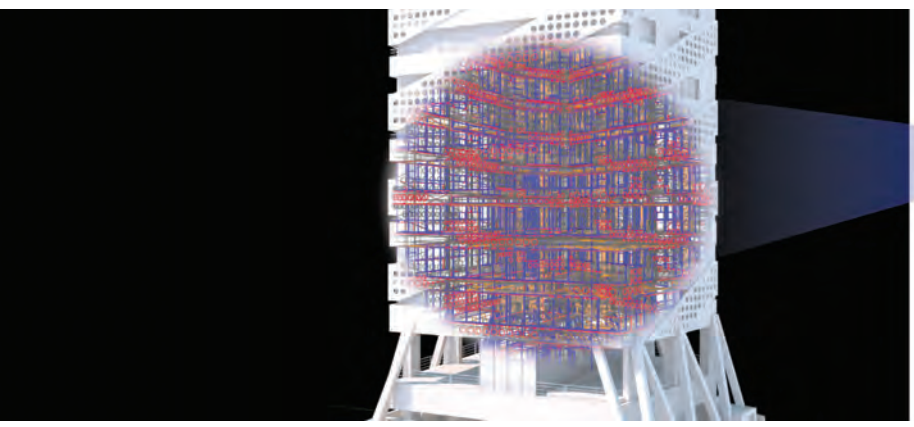
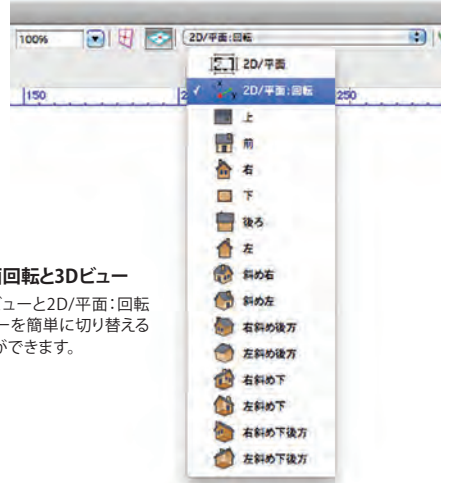


**平面回転と3Dビュー**  
3Dビューと2D/平面:回転ビューを簡単に切り替えることができます。

**ツイストツール**

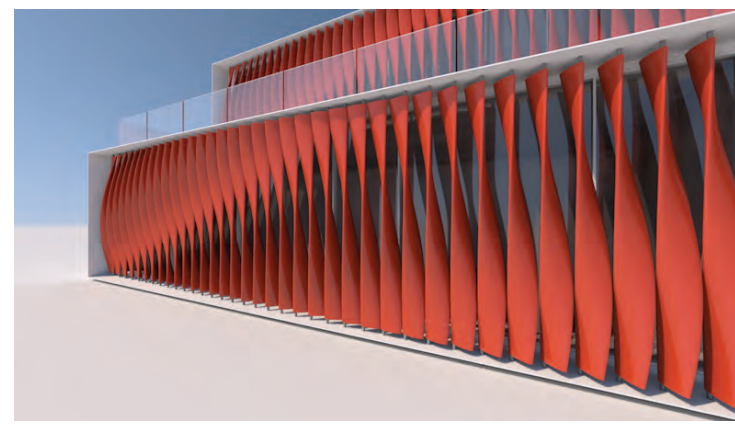
画期的です。単一/複合を問わず3Dモデルを、直感的、かつ簡単にツイスト形状に変形させることが可能になりました。

**F A L S D**



**X線セレクトモード**  
この新しい技術を使用すると、2D/3D両方でソリッド図形を透過させ、選択、編集することができ、モデルを自由に操作できます。

**ツイストツール**  
ソリッド全体やソリッドの面、またはNURBS曲面を指定した角度でツイストできます。



## 高まるBIM性能

Building Information Modeling (BIM) は、建築プロジェクトに関わるすべての人々のために、設計、分析、共同作業、そして必要書類を一体化させます。他のBIMソフトウェアが設計上の創造性を制約してしまうのに対し、Vectorworks Architect ソフトウェアはそれらを無理なく調和させ、関わる人々が効果的に共同作業することを容易にしつつ、あなた自身の芸術的観点に忠実でいつづられるように思考の邪魔をしません。モデリング性能の向上に伴い、引き続き、自由な操作性、創造性を提供します。バージョン2014では、特にモデル関連資料生成や注釈、そして作図調整に対して最適な機能を提供することに重点を置いています。

### デザインレイヤ断面ビューポートを平面化するオプション

新しいオプションは、デザインレイヤ上の断面ビューポートを、シートレイヤ上の断面ビューポートと同じように、平面化したビューで表示させ、断面や詳細の図面の作成をより簡単に行えます。

**A L S D**

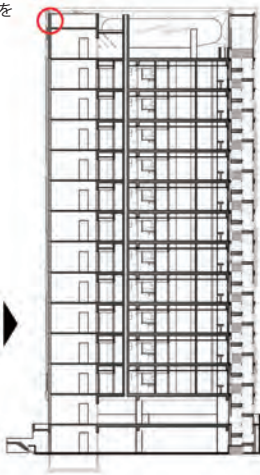
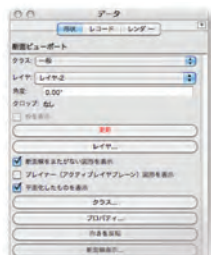
### 複製、または移動した壁の結合

編集後も壁の結合を維持します。このバージョン 2014 では、配列複製、ポイント間複製、またはナッジ操作後も壁の結合が維持されます。

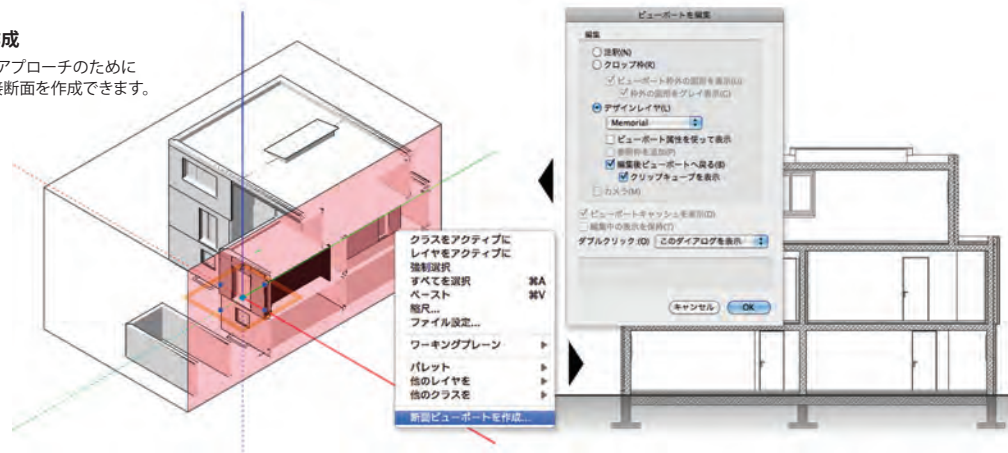
**A L S D**

### デザインレイヤの断面ビューポートを平面化するオプション

デザインレイヤ上の断面ビューポートを平面化したビューで表示します。



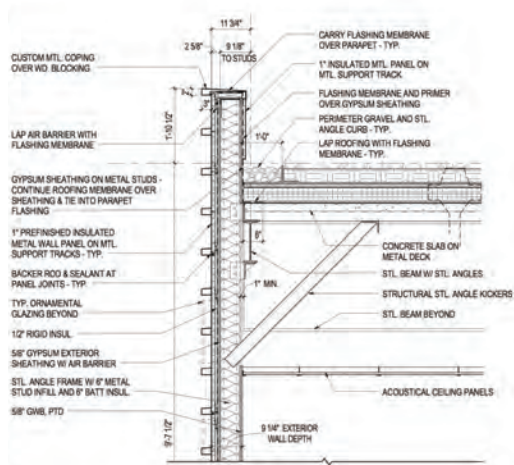
クリップキューブから断面ビューポートを作成  
もっと実践的で視覚的なアプローチのためにクリップキューブから直接断面を作成できます。



### クリップキューブからの断面ビューポート生成

インタラクティブなクリップキューブから直接デザインレイヤ、またはシートレイヤのビューポートを作成することができるようになりました。ビューポートの作成だけでなく、再度、クリップキューブに戻り、編集、変更することも可能です。この拡張によって、あなたはモデルから簡単に断面図を作成や編集に、より実践的で視覚的なアプローチを行えるようになります。

**A L S D**



### 屋根の向上

切り欠きコマンドと消しゴムツールを使用すると、直接屋根面や屋根オブジェクトに穴を追加することができるようになりました。さらに、屋根の端部を個別に設定できるようになり、切り妻を大幅にカスタマイズできるようになりました。

**F A L S D**

### スペースラベルのプロパティコピー

この機能では、大きなプロジェクトのときにスペールラベルのプロパティを素早くコピー&ペーストする必要が出た時、または好きなデフォルトのプロパティで新しいスペースを作成する時に時間を大幅に短縮できます。

**A D**

### ビューポートのマーカー設定

この機能で断面ビューポートを作成する前にデフォルトの断面マーカーのプロパティの選択を可能にすることで、作成プロセスの中で不要な手順を飛ばすことができます。

**A L S D**





**特殊形状の窓**

新しい窓の形状のオプションとパラメトリックの制御で特殊形状の窓を作成できます。

**階段の第三の側板**

幅の広い階段では、蹴込み板の中間に支えが必要な場合があります。この新しい機能で階段に第三の側板を設定することができます。

**A L D**

**階段の上階と下階で異なる矢印の方向**

階段の上階と下階の矢印は、国や地域によって異なる基準が必要です。一部の国々では「上り」方向を示す時のみ階段の矢印表記をしますが、他の国々では認可を得るために矢印を上、または下に向ける必要があります。バージョン 2014 では、そのどちらも表現可能になりました。

**A L D**

**特殊形状の窓**

様々な窓の形状をオプションで選択できるようになりました。データパレットのほか、形状オプションとパラメトリック制御が窓の設定から行えます。

**A L D**

**ドアの採光パネル**

ドアの最上部パネルと採光パネルを制御できるようになりました。もしカスタムのドアを作成する、または業務用のドアの仕様を再現する必要がある場合などは、この機能が有効になるでしょう。

**A L D**

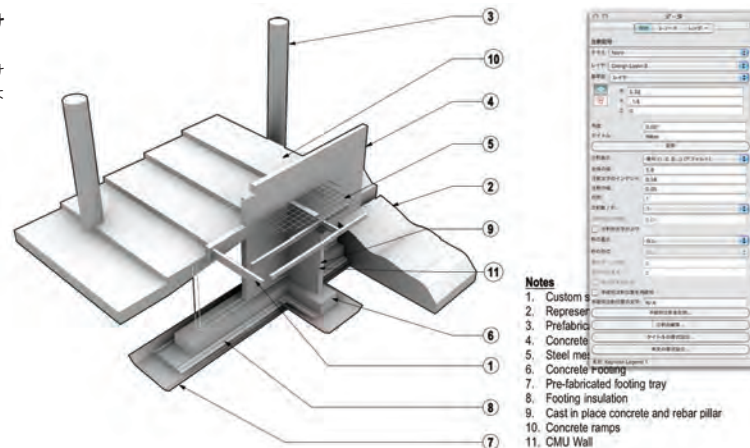
**ドアと窓の吊り元方向マーカーオプション**

ドア / 窓設定の新しいオプションでは、正面視点時の吊り元方向マーカーをどの方向に向かせるかを選択できるようになりました。これにより各国 / 地域の基準に準拠させることができます。

**A L D**

**注釈記号の番号付け機能の向上**

注釈記号の自動番号付け機能を制御できるようになりました。



- Notes**
1. Custom
  2. Replaces
  3. Prefabric
  4. Concrete
  5. Steel me
  6. Concrete r
  7. Pre-fabricated footing tray
  8. Footing insulation
  9. Cast in place concrete and rebar pillar
  10. Concrete ramps
  11. CMU Wall

**オートハイブリッドの陰線オプション**

2D / 平面ビューでは、オートハイブリッドオブジェクトは切断面から上、または下の陰線表示を作成することができます。表示をスムーズにする曲面の分割線を表示する最小角度や、破線を制御することができる新しいオプションがオートハイブリッドオブジェクトに追加され、より良い図形の描画と全体的な動作が向上しました。

**A L S D**

**注釈記号の番号付け機能の向上**

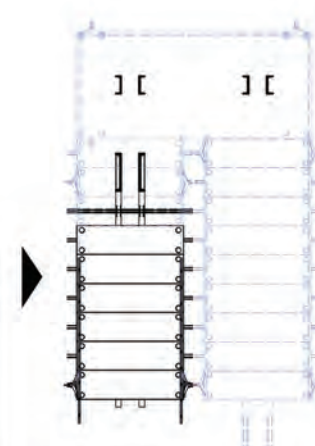
注釈記号の自動番号付けを制御できるようになりました。新しいオプションでは、注釈が削除されるとその箇所にはプレースホルダをキープし、望まない自動番号が付与されることを避けます。そのプレースホルダは必要に応じていつでも簡単に削除することができます。

**A L S D**



**階段の第三の即板**

階段オブジェクトに第三の側板を設定できます。



## 効率性の向上

Vectorworks2014ソフトウェアでは、インターフェイスをシンプルにし、コンテキストメニューにオプションを追加、向上した寸法機能をすべてのオブジェクトに対応させ、あなたのデザインワークをよりスピード感のあるものにする性能向上を実現しています。作業効率を大幅に上げるいくつかの機能を紹介します。

### 画期的なビットマップイメージのクロープ

写真や画像を取り込んだプレゼンテーションレイアウト制作では、この機能がひときわ目を引くことでしよう。イメージを部分的に表示させるために他の画像編集ソフトで事前準備する必要はありません。取り込み / 参照したイメージファイルをダブルクリックすれば、すぐにクロープ編集できます。

F A L S D

### 表示設定ツールの向上

Fundamentals でも利用できるようになりました ( 要作業画面編集 )。ショートカットキーに連動し、非表示設定のレイヤ、クラスであっても一時的に表示させ、マウスカーソルに触れた図形と同じ階層上の図形をハイライトさせます。

F A L S D

### 基準面による類似図形選択

類似図形選択ツールには、3D 作業時、役立つように、次にクリックしたアイテムと同じ基準面上の図形を選択できるようオプションが追加されました。

A L S D

### フォントプレビュー

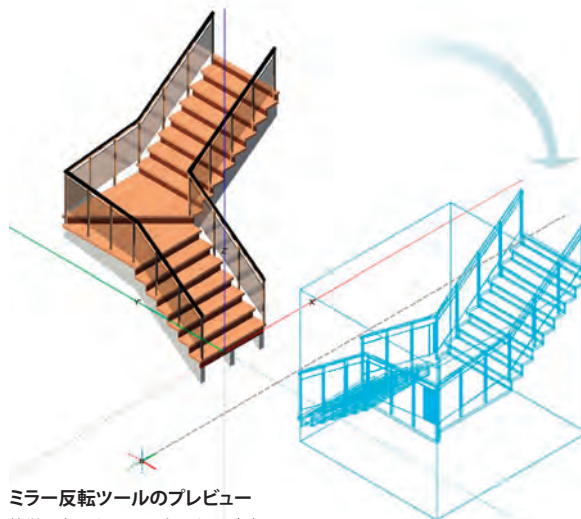
文字設定ダイアログと文字スタイルの作成ダイアログで、選択したフォントをプレビュー表示できるようになりました。これにより、文字に今までとは違う可能性を持たせることができます。また、文字設定ダイアログから文字のスタイルを直接保存できるようになりました。

F A L S D

### ミラー反転ツールのプレビュー

ミラー反転ツールでは、ミラー反転されたアイテムを手早く簡単に配置できるようにプレビューが表示されるようになりました。

F A L S D



### ミラー反転ツールのプレビュー

簡単に素早くミラー反転したオブジェクトを配置するためのプレビューです。

### 引出線を整列コマンドの向上

引出線を整列コマンドに、水平線ポイントを動かさなくても引出線の文字を整列できるオプションが追加され、機能が向上しました。これにより、注釈を美しく表示し整列することが簡単になりました。また、パルーン詳細オブジェクトの整列もサポートできるようになりました。

F A L S D

### 属性パレットの不透明度のプレビュー

属性パレット不透明度設定にプレビューボタンを追加、不透明度を確認しながら不透明度をより活用し、他のデザイナーの一步先行く 2D デザイン図面を設計してください。

F A L S D

### 多角形/曲線を簡素化コマンド

DWGファイルから取り込んだ曲線や2D または 3D の多角形、または頂点が多すぎる多角形/曲線などを単純化します。



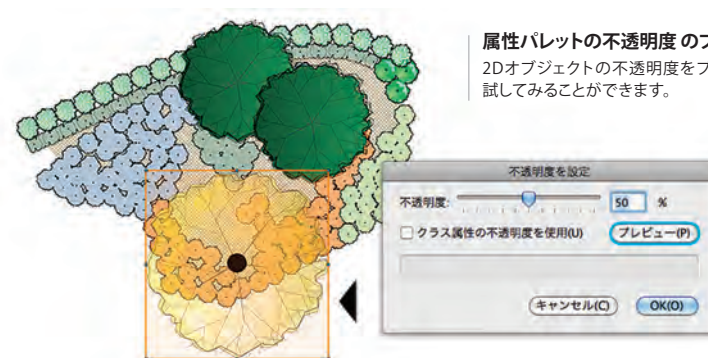
### 多角形 / 曲線を簡素化コマンド

新しい多角形 / 曲線を簡素化コマンドでは、Vectorworks アプリケーションの曲線や 2D、または 3D の多角形を単純化することができます。このコマンドは複雑な地形データを取り込んだ後や、取り込んだ DWG ファイルを単純化したい時、または頂点が多すぎる多角形 / 曲線を扱う時などにとっても役立ちます。

F A L S D

### 属性パレットの不透明度のプレビュー

2D オブジェクトの不透明度をプレビューで試してみることができます。



### 変形ツールの機能強化

変形ツールは、四角形、隅の丸い四角形、長円に対応しました。また、隣接する角度を変えることなくオブジェクトの辺を移動する辺の平行移動モードが追加され、隣接角を変更せずに図形を変形できます。

**F A L S D**

### 図形の頂点を素早く編集できるコンテキストメニュー

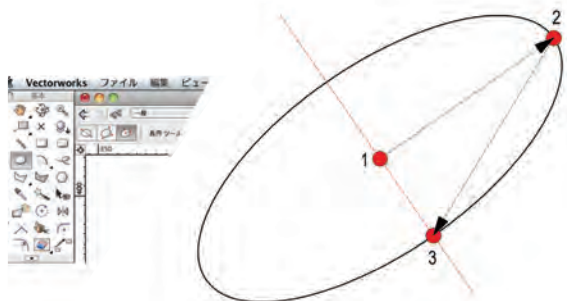
図形内の複数の頂点の中から対象の頂点を苦労しながら選択することなく、新しいコンテキストメニューによって、データパレットで直接頂点を選択し、頂点ベースのオブジェクト編集を格段にしやくなっています。

**F A L S D**

### 中心と半径による長円モード

長円ツールでは、既存の四角形や斜め四角形モードに加え、中心と半径による長円モードが追加、意図する長円を作図しやくなっています。

**F A L S D**



#### 中心と半径による長円モード

中心点から長円を作図できるようになりました。

### 反転したシンボルと他の図形の表示に関する警告

反転したシンボルを編集しようとする、編集モードの画面には他の図形が表示できない旨を通知する警告メッセージが表示されるようになりました。

**F A L S D**

### ナッジ操作実行時のメッセージ表示

「今、図形をナッジしてしまったらどうか?そんなつもりはなかったのに…」こんな時のために、図形をナッジするとメッセージバーにナッジを使用した旨のメッセージを表示するためのオプションが環境設定に追加され、意図しないナッジ操作を簡単に取り消すことができます。

**F A L S D**

### 整列していない寸法文字のオフセット

これまで、整列していない文字は常に寸法線上の中心に配置されていましたが、データパレットにある文字オフセットの文字を反転オプションを使用するとすべての寸法文字を判別しやすく読みやすくさせることができます。

**F A L S D**

### 未更新のビューポート枠を非表示

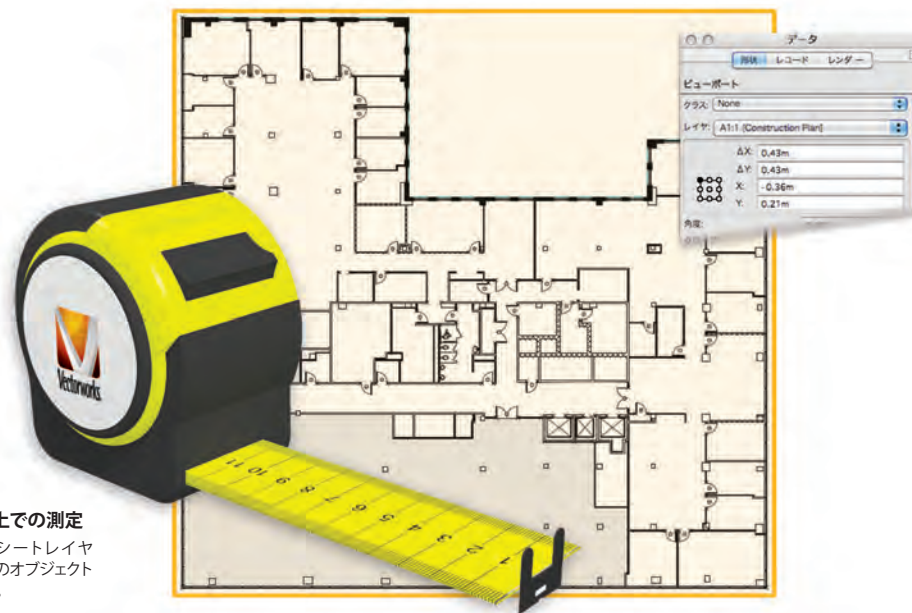
未更新であることを示す枠をクライアントとの会議やプレゼンテーション中に表示させたくない場合は、「未更新のビューポート枠を表示」機能をオフにすることで簡単に非表示にすることができます。

**F A L S D**

### シートレイヤビューポートのモデル空間の縮尺測定

キルビメータツールをシートレイヤで簡単に使用できるようになりました。シートレイヤビューポートのオブジェクトを測定すると、キルビメータツールはシートレイヤの縮尺が常に 1:1 であっても、自動的に実測定値と実際の縮尺の両方を表示します。

**F A L S D**



#### ビューポート上での測定

実際の縮尺でシートレイヤビューポート内のオブジェクトを測定できます。

### 起点作成時のフローティングデータバー

データバーとグループ編集の新しいオプションでは、起点を作成すると Tab キーを押すことなくフローティングデータバーが自動的に表示されます。

F A L S D

### クラスとレイヤの「新規」作成オプション

データパレットや表示バーのクラス、レイヤリストから新しいクラス、レイヤを直接作成できるようになりました。作業の手を止めてオーガナイザダイアログボックスを開いてレイヤやクラスを作成する必要がなくなりました。

F A L S D

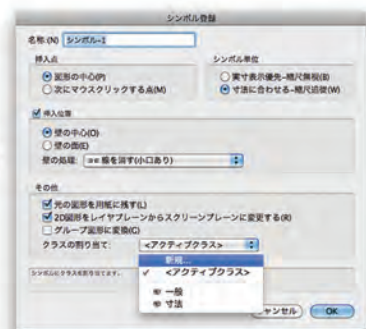
### シンボルダイアログボックスの向上

ドア、窓、スペース、そしてシンボルでは、作成時にクラスを割り当てられるようになりました。

F A L S D

### シンボルダイアログボックスの向上

シンボルの作成時にクラスを割り当てられるようになりました。



### 回転に連動する幅と高さのラベル

回転と連動することでデータパレットで正しい高さや幅を簡単に識別することができます。

### 寸法線と直列寸法線オブジェクトの統合

寸法線ワークフローをシンプルにするため、寸法線オブジェクトと直列寸法線オブジェクトを寸法線オブジェクトに統合しました。これにより、寸法線を1つのツールで生成できるようになります。加えて、コンテキストメニューとデータパレットに寸法線オブジェクトや関連する文字を編集するための共通のオプションが用意されました。

F A L S D

### 回転に連動する幅と高さのラベル

データパレットで、オブジェクトの高さと幅を示す「H」と「W」ラベルは、選択した長円、四角形、隅が丸い四角形が回転した場合でも正しく連動するようになりました。正しい高さや幅の値の識別が簡単になります。

F A L S D

### 図形選択時の新しい検索条件

図形選択マクロやワークシートの検索条件には、表示かつ選択の有無 - 条件を指定できる検索条件が追加され、表示や選択状態での図形検索が可能になりました。

F A L S D

### 切断ツールとトリミングツールの「選択中の図形」モード

選択中の図形のみをトリミングまたは切断します。



### 切断ツールとトリミングツールの「選択中の図形」モード

切断ツールとトリミングツールの新しいモードを使用すると、選択中の図形のみをトリミング、または切断することができますようになります。あなたの図形編集作業が格段に向上します。

F A L S D

### 2D/3D シンボル Z 座標をデータパレット表示

3Dと2Dビューの両方でデータパレットに2D/3Dシンボル、ハイブリッドプラグインオブジェクトのZ高さが表示されるようになりました。

F A L S D

### Mac 環境下での陰線マルチスレッド

Mac ユーザ向けに、バージョン 2014 では陰線レンダリングでマルチスレッドをサポートするようになりました。これにより、レンダリング速度が40%以上高速になりました。

F A L S D

### ヘルプメニューからオンラインリソースへのアクセス

ヘルプメニューから関連オンラインリソースへ直接アクセスできるようになりました。Vectorworks プラグインのご案内、テクニカルサポート、そしてVectorworks サービスセレクトポータルとVectorworks Cloud Services(製品ページ経由)へのリンクも追加されました。

F A L S D R

### Vectorworks 製品で追加拡張された機能

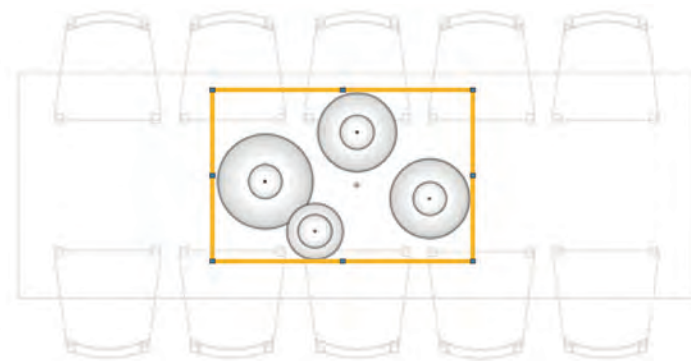
以下の Vectorworks の機能は製品ラインナップ内で拡張されました。

- (Vectorworks Fundamentals) 表示設定ツール、および統合ビューコマンドが使用できるようになりました。
- (Vectorworks Architect/Spotlight) シンボル置き換えコマンドが使用できるようになりました。
- (Vectorworks Landmark) IFC が使用できるようになりました。
- (Vectorworks Landmark/Spotlight) 外壁を採寸コマンドが使用できるようになりました。
- (Vectorworks Spotlight) 一覧表を選択コマンドが使用できるようになりました。



### 2D/平面ビュー時に2D/3DシンボルのZ座標をデータパレットに表示

平面ビューのときにZ値高さを推測したりビューを切り替えて調べたりする必要がなくなりました。



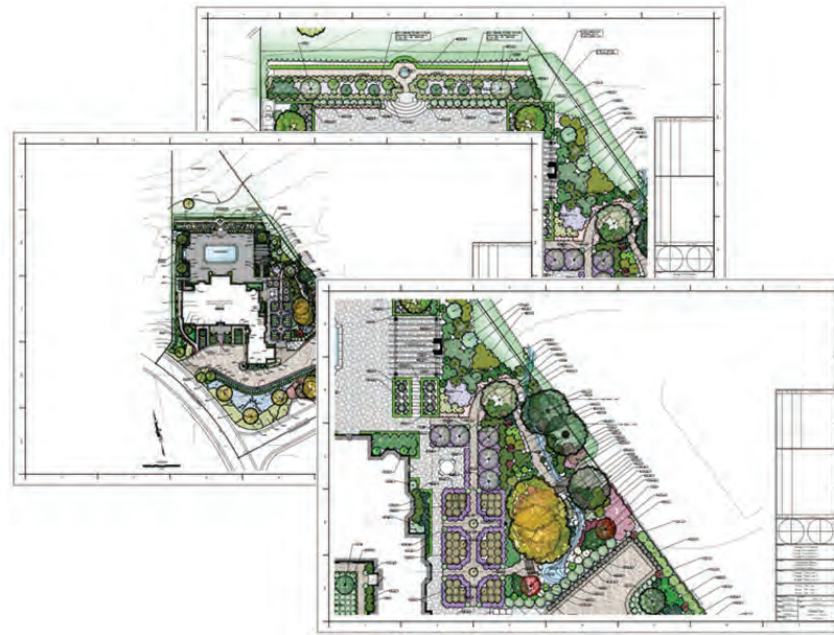
## ファイル相互運用性の向上

ワークフローのバランスをとるために最も重要なものの1つとして、クライアントや建築請負業者、エンジニアとして株主などとシェアやコラボレーションをする必要があります。Vectorworksソフトウェアの強みは、高品質な取り込み、取り出し機能による多種多様なファイル形式との互換性を持っていることです。バージョン2014では、コラボレーションやシェアする場合の調整機能、強力なパブリッシュコマンド、AutoCAD®ファイルの直接的な参照のサポートなど新しい性能や機能向上をご利用いただけます。

### パブリッシュコマンド

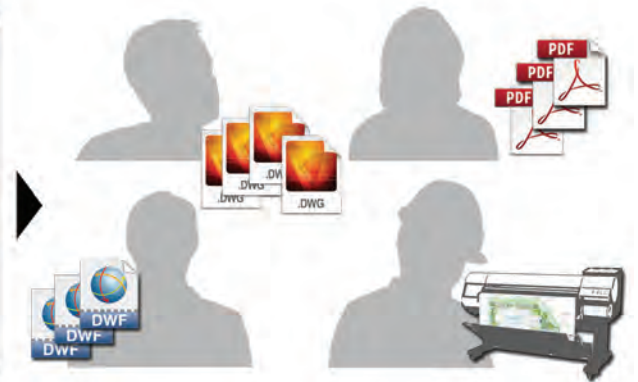
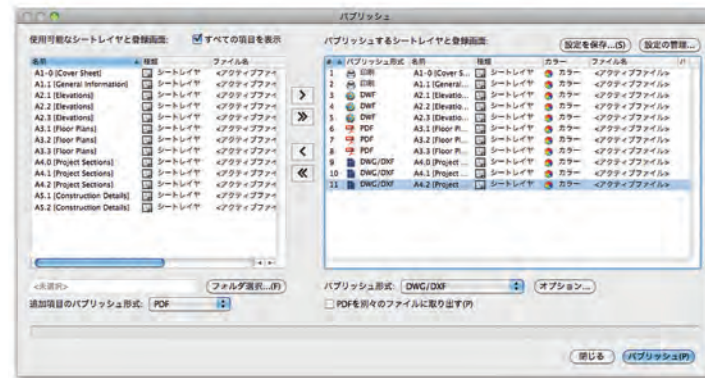
この新しいパブリッシュコマンドは、図面セットの取り出しに、とても大きな柔軟性を与えるものであり、一度に印刷したり、取り出したり、保存することができます。この機能では、登録画面やシートを印刷やPDF、DXF/DWG、またはDWFファイルから選択することができ、取り出しや印刷用設定に名前をつけて保存することも可能、パブリッシュ時の設定の管理が今までにないほど簡単になりました（一括プリントとPDF取り出しにはデザインシリーズが必要です）。

F A L S D



### パブリッシュコマンド

パブリッシュ時の設定の管理が今までにないほど簡単になりました。



## IFCの強化

Vectorworks は、IFC ベースのワークフローに対する機能の向上を通して、BIM 活用に新たな相互運用性を提供します。これには高品質の意匠モデルの提供や高い忠実度で構造や設備設計パートナーからの IFC モデルを受け取ることができるようなコラボレーションが含まれます。

- 建築物のエネルギーシミュレーションと IES VE からの分析と共に使用できる 2 つの IFC ビューオプションがワークフローを自動的にサポートします。
- IFC データは、Vectorworks のデータベースワークシートの不可欠な要素となっています。これにより、ユーザが IFC データが割当て済みの Vectorworks BIM オブジェクトに対して検索したり、レポートを作成したりすることができます。
- Vectorworks 2014 では、新しいコマンドによって IFC ゾーンをサポートを強化しています。
- ifcXML サポートによって、Vectorworks 2014 ユーザは、建築業界のさらに多くのアプリケーションやワークフローとの BIM データの交換をすることができます。

**A L D**

## プリント前にワークシートを再計算

プリントと PDF 取り出しには、プリントや取り出しの前に自動的にワークシートを再計算するオプションが追加されました (PDF 取り出しにはデザインシリーズが必要です)。

**F A L S D**

## 3DS・Parasolid X\_T 取り出しのすべてのレイヤ指定オプション

3DS(要デザインシリーズ)や Parasolid X\_T へ取り出す図形をさらに制御できるように、アクティブレイヤ/すべてのレイヤを指定できるようになりました。

**F A L S D**

## レコードフォーマットを分割/統合する新しいコマンド

この新しい 2 つのコマンドで、Vectorworks ファイル内のレコードフォーマット内のデータをより制御することができます。これによって、Shape ファイルのような複雑なデータファイルの情報をさらに制御できます。この分割/統合オプションで、作業中にレコードデータを失うことはありません。

**F A L S D**

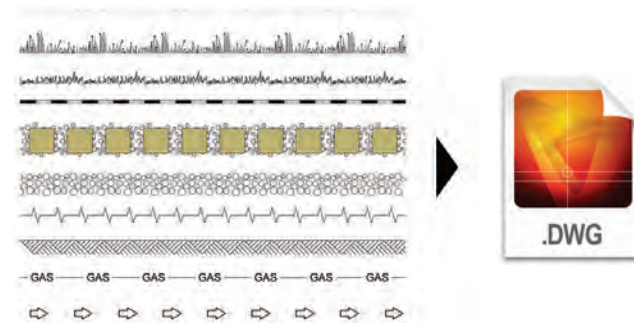
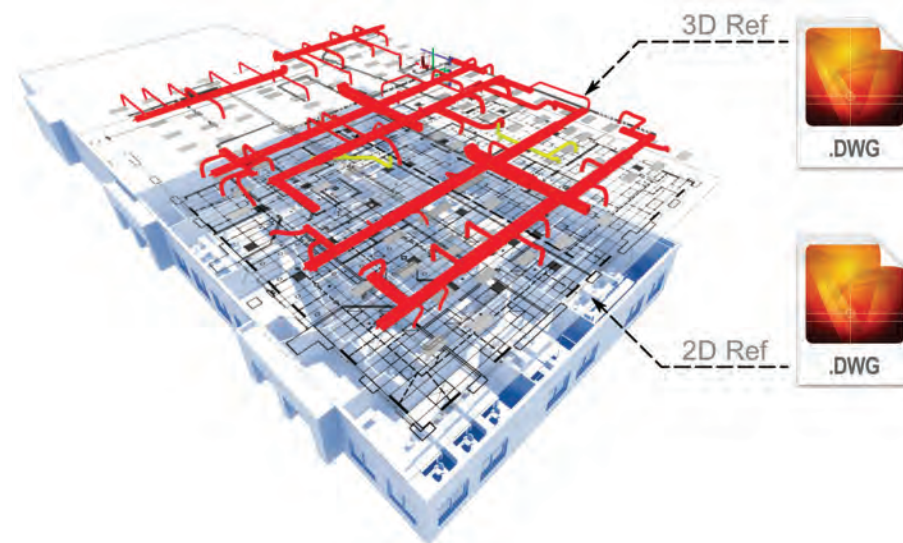
## DXF/DWGの向上

- **DXF/DWG、または DWF ファイルの直接参照**  
DWG/DXF、または DWF ファイルを Vectorworks プロジェクトで直接参照できるようになり、より強力なシンプルなコラボレーションやチームワークフローを実現します。
- **DXF/DWG や DWF 取り出しでの複合ラインタイプ**  
DXF/DWG 取り出しや DWF 取り出しコマンドで、Vectorworks からの複合ラインタイプとカスタムラインタイプをサポートするようになりました。共同作業員に対してさらにクリアで正確な成果を提供します。
- **DXF/DWG と DWF で、名前付きの色をサポート**  
この新しい機能では、Vectorworks と AutoCAD ソフトウェアで色の名前を一致させることができます。
- **ログファイルへの DXF/DWG/DWF 設定保存**  
新しいログファイルは、DXF/DWG と DWF 取り込みの設定を記録します。これにより DXF/DWG と DWF 取り込みに関して一貫した結果を保存する手助けをします。

**F A L S D**

## DXF/DWGまたはDWFファイルの直接参照

Vectorworksで直接DWG/DXFまたはDWFファイルを参照できます。



## DXF/DWGやDWF取り出しでの複合ラインタイプ

カスタムラインタイプの取り出しをサポートして、共同作業員に対してさらにクリアで正確な成果を提供します。





## 土木造園設計

土木造園設計のプロフェッショナルとして、設計プロセスと技術的な要望とのバランスを取るのに、Vectorworks Landmarkソフトウェアほど簡単にできるものはありません。バージョン2014では、2Dの地形設計の外観をカスタマイズしながら3Dでの地形情報モデルの構築をする手助けをします。加えて、植栽の影表現の強化といった機能向上が、クライアントへの印象的なプレゼンテーションを作成するお手伝いをします。

### 植栽の影の向上

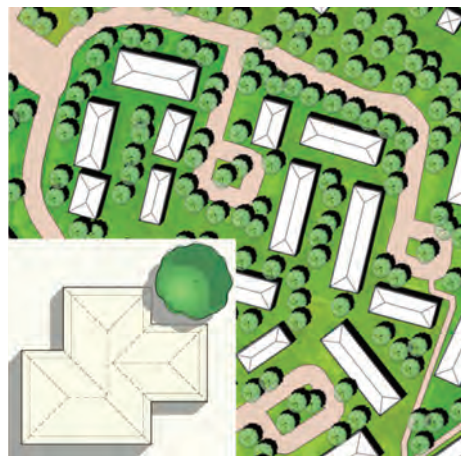
植栽の影が強化されました。植栽オブジェクトに対するインタラクティブでダイナミックな影を使用することで、プレゼンテーションレベルの敷地図の作成が素早く簡単にできるようになります。ファイル設定で共通の影のスタイルを図面上のすべての植栽に割り当てることも、必要に応じて個々の植栽にそれぞれカスタムの影の設定を作成して割り当てることもできます。

**A L D**

### 造成図形の面積と体積の表示

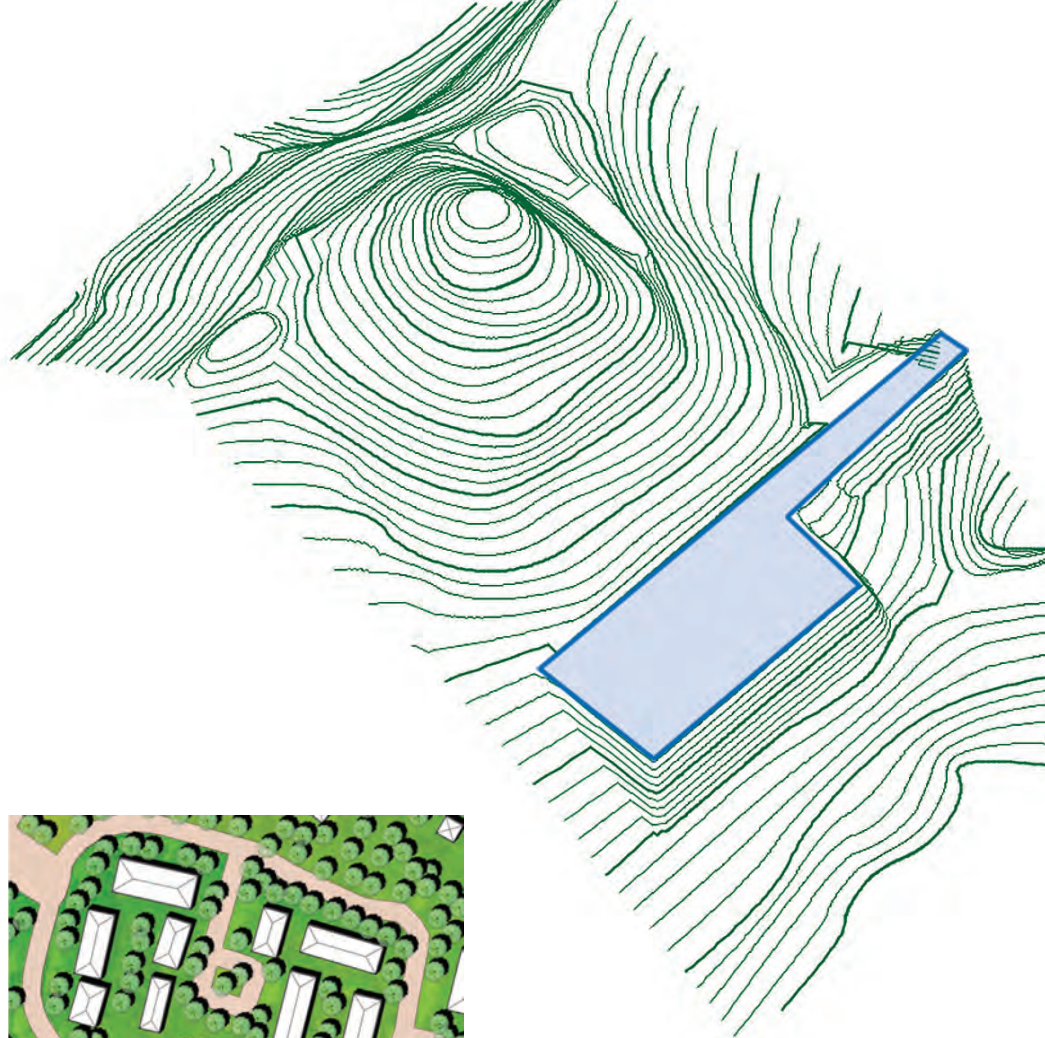
造成図形に、全体の地形情報を補足する特定の面積と体積の情報を取得するオプションが追加されました。この新しいオプションは、地形モデルの隔離領域や地域の情報取得に役立ちます。

**A L D**



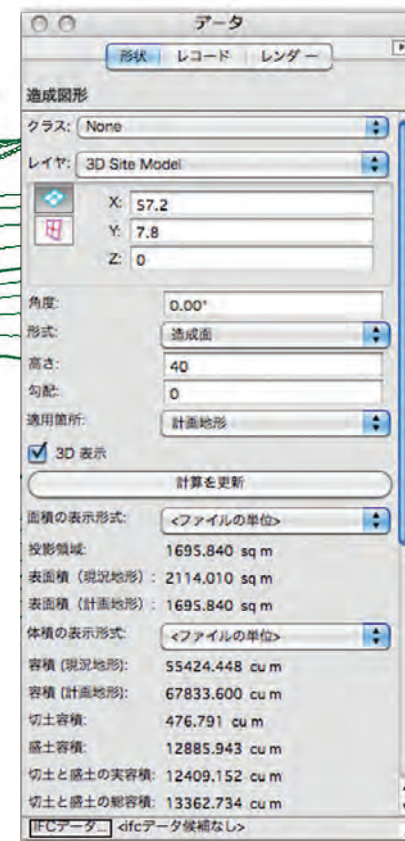
### 植栽の影の向上

植栽オブジェクトに対するインタラクティブでダイナミックな影を使用して、プレゼンテーションレベルの敷地図を作成できます。



### 造成図形の面積と体積の表示

地形モデルの隔離部分の特定の面積と体積情報を取得できます。



### 植栽カスタムラベルの編集

植栽レコードフィールドのキーワードを記憶しなくても、あらかじめ定義済みのラベルフィールドの値を選択することによって、植栽カスタムラベルが作成できるようになりました。

**L D**

### 地形モデルに壁をはめ込む

地形モデルに正確に壁をはめ込むオプションが、図形に壁をはめ込むダイアログに追加されました。

**A L D**

### より正確になった敷地表面に移動コマンド

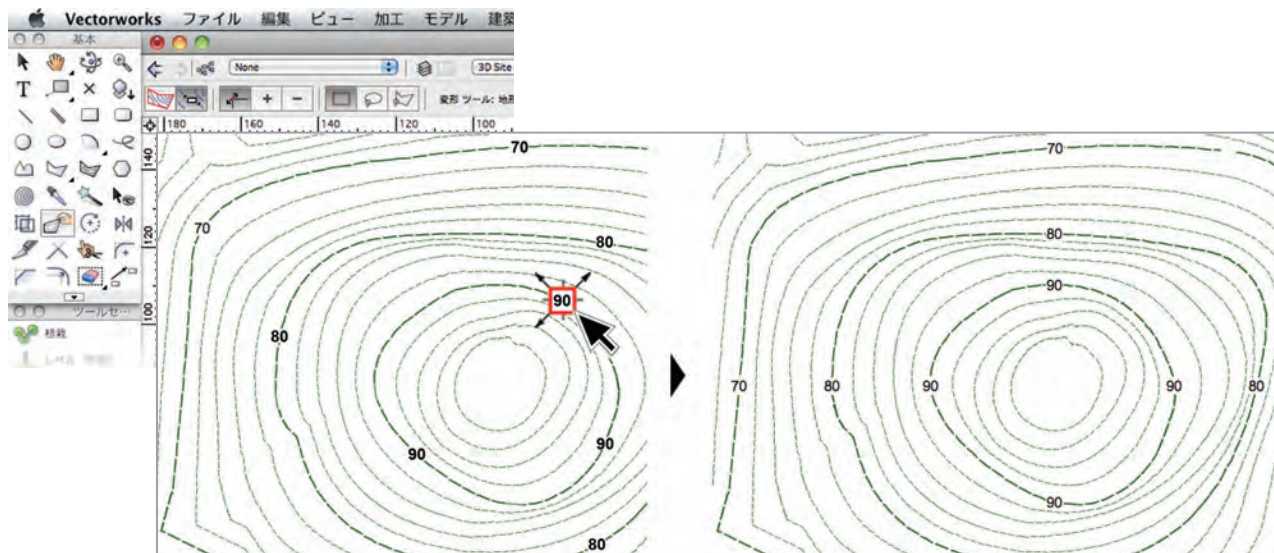
敷地表面に移動コマンドは、造成面や擁壁をさらに正確に敷地の表面に配置できるように機能が向上されました。

**A L D**

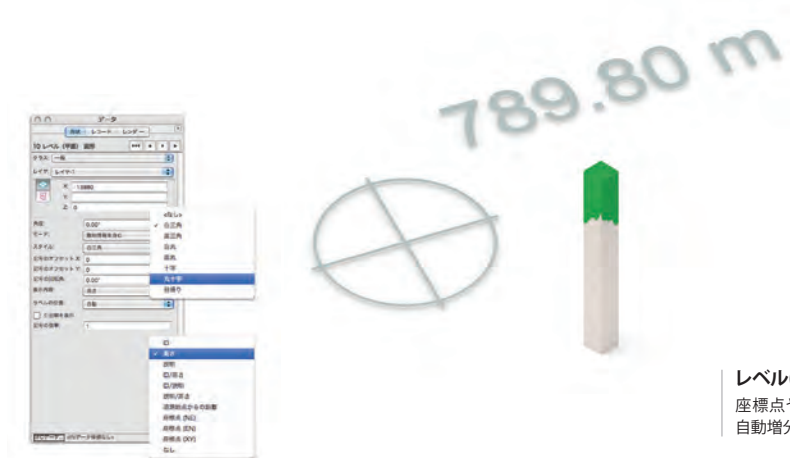
### 植栽定義へのアクセス性の向上

植栽の設定ダイアログボックスのどのペインからでも、植栽定義の編集にアクセスできるようになりました。

**L D**



**地形モデルの等高線ラベル位置の編集**  
変形ツールを使用して、自由自在に等高線ラベルを配置、再配置することができます。



### レベル(平面)オブジェクトの向上

レベル(平面)オブジェクトは、グラフィック表示や座標の表示の選択肢が増え、機能が向上されました。座標点や標高点のラベルIDの番号を自動増分して追跡することもできます。

**A L D**

**レベル(平面)オブジェクトの向上**  
座標点や標高点のラベルIDの番号を自動増分して追跡できます。

### 地形モデルの等高線ラベル位置の編集

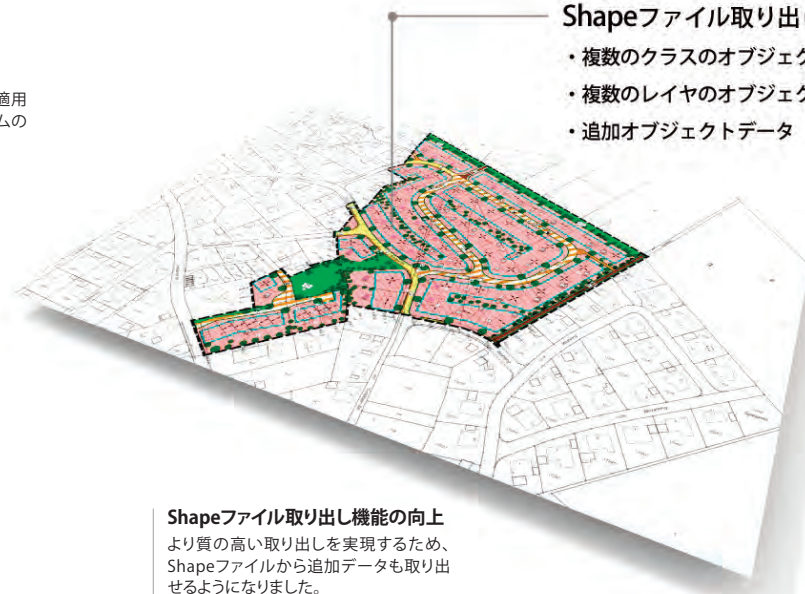
新しい地形モデルの等高線ラベル位置の編集は、基本パレットの変形ツールで、見やすさや、注釈の表示、そして会社標準に準拠するように等高線ラベルを自由に配置、再配置することができます。この機能は、実地調査や地盤面設計、植栽計画などの作図タイプにも適用できます。

**A L D**



### 建物モデルの向上

ファイル全体に共通の影の設定を適用したり、個々の建物モデルにカスタムの影の設定を適用したりできます。



### Shapeファイル取り出し

- 複数のクラスのオブジェクト
- 複数のレイヤのオブジェクト
- 追加オブジェクトデータ

### Shapeファイル取り出し機能の向上

より質の高い取り出しを実現するため、Shapeファイルから追加データも取り出せるようになりました。

### ジオリファレンスデータ位置調整の無効化

この新しいオプションは、VWX ファイルからのデータ選択とシェアする機能を大幅に強化しています。また、単体のSHP ファイル内にあるレコードフォーマット付きの増大なレイヤとクラスにも対応しています。管轄要件などを満たしている、または満たす必要がある GIS ユーザや開発計画家、土地利用計画家、そして都市計画家などにとってはとても役立ちます。

**A L D**

### 建物モデルの向上

建物モデルは影のサポートにより、2D 平面図での自由な表現を行いながら、3D でスマートオブジェクトの作業を進めることができます。そして植栽の影の表現のように、ファイル全体に共通の影の設定を適用したり、個々の建物モデルにカスタムの影の設定を適用することができます。さらに、建物モデルのレコードに対して、フロアの用途データを入力することもできます。フロアの用途データは、新しいワークシートのサブistring機能を使用して、レポート作成にも役立ち、これにより、建物モデルを都市計画の初期設計分析として使用することも可能になります。

**A L D**

### レコードから変更コマンドの 2D 多角形 / 曲線を 3D 等高線に変更する新しいモード

レコードから変更コマンドの新しいモードを使用すると、2D 多角形、または曲線を元の図形のレコードデータを基に 3D 等高線へと変換することができます。shape ファイルを実用的な地形モデルの要素に変換することができます。効果的な方法です。

**A L S D**

### Shape ファイル取り出し機能の向上

Shape ファイル取り出しコマンドが、以下の取り出しにも対応するようになりました：

- 複数のクラスのオブジェクト
- 複数のレイヤのオブジェクト
- オブジェクトの位置、レイヤ名、クラス名、色の属性、そして図形の名前などの追加オブジェクトデータ

**L D**



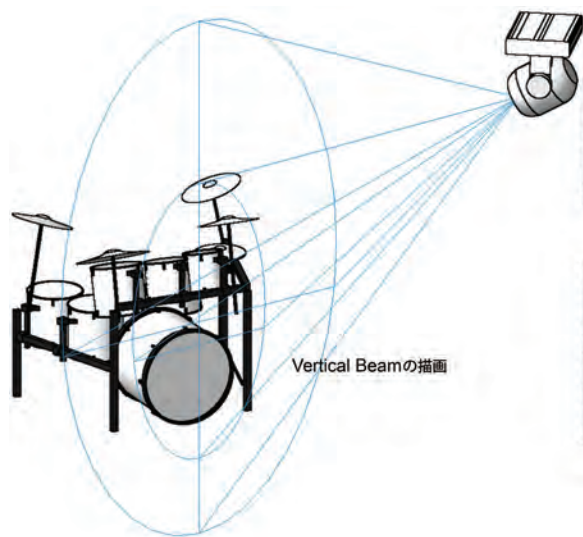
## 舞台照明設計

舞台照明の世界で最高のパフォーマンスは、関係する設計者同士が協力し、一つのゴールに向かって貢献するというチームワークによって生み出されます。Vectorworks Spotlight 2014ソフトウェアは、あなたがチームのキープレーヤーとなれるようにお手伝いします。照明器具や一覧表機能、イベント計画のグラフィックコントロールへの機能向上や新しい性能はすべて、個人のクリエイティブ性への要求と設計情報のシンクロナシティ、正確性の必要要件とをうまくバランスを取り、あなたを支援します。

### 照明器具オブジェクトの向上

照明器具オブジェクトには、あなたの効率を確実に上げるような機能アップを行いました。器具ラベルを割り当てる時に、ラベル名を思い出す必要はありません。照明器具のデータパレット上にあるラベル用の新しいポップアップを使用してください。フォーカスポイントに明確に照射されるビームの高さにも注目してください。カスタマイズしたデータレコードを使用して、内蔵情報とあなたの作成した情報を自由にミックスすることができます。複数のジェルで「サンドイッチ」する色シミュレーションにもご注目できるでしょう。

S D



ラベル選択



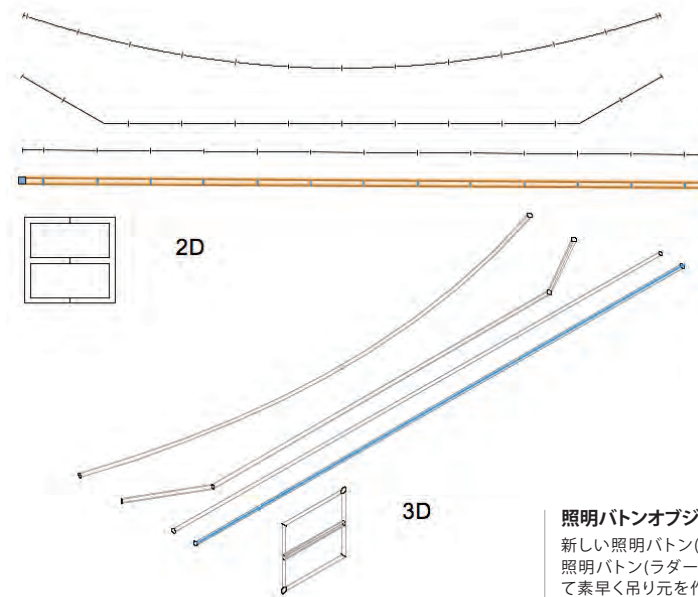
色の組み合わせ



データレコード

### 照明器具の向上

照明器具オブジェクトには、あなたの効率を確実に上げるような機能の向上がなされています。



### 照明ボタンオブジェクト

新しい照明ボタン(パイプ)と照明ボタン(ラダー)を使用して素早く吊り元を作成することができます。



### 照明ボタンオブジェクト

私たちは、Vectorworks Developer Network を通して Joshua Benghiat Lighting Design とタッグを組み、新しい照明ボタン(パイプ)ツールと照明ボタン(ラダー)ツールを搭載しました。これによって新たな設計選択肢を提供し、照明の吊り元を作成しやすくなります。

S D

### 新しい器具概要オブジェクト

Joshua Benghiat Lighting Design によるオリジナルツール(器具概要ツール)であるこの新プラグインオブジェクトを使用して、照明器具と吊り元の概要を効果的作成、構成することができます。その柔軟性をお楽しみください。

S D

### フォーカスしている照明器具の選択

フォーカスポイント上で右クリックすると、そのフォーカスポイントに割り当てられているすべての照明器具を選択することができます。

S D

**器具ラベルの参照シンボルの変更**

器具のラベルを設定ダイアログからラベルに参照するシンボルを直接変更できるようになりました。

**S D**

**照明情報レコード (Light Info Records) の第 2 アンクルフィールドの精度を向上**

ビームを描画する機能で、2 軸のビームのビームアングルをより正確に表現します。

**S D**

**吊り元変換時に自動的に高さを割り当て**

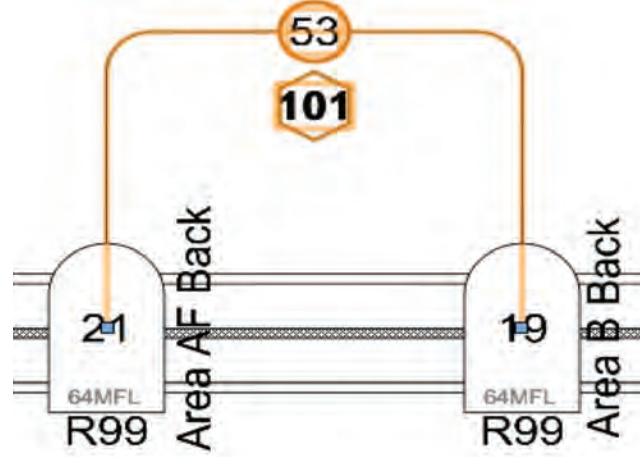
Vectorworks は、プラグインオブジェクト、またはシンボルを吊り元に変換するときに、吊り元の高さを割り当てます。

**S D**

**既存の照明器具から新しいラベルを作成**

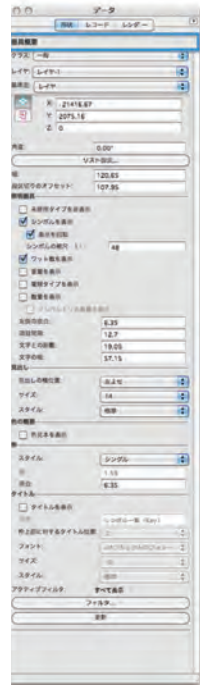
この新しいコマンドを使用すると、既存の照明器具で作成したラベルから新しいラベルを作成できます。

**S D**



**ディマーおよびチャンネルによるTwo-Fer配線**

ディマーとチャンネルをTwo-Fer配線の照明器具に自動的に同期します。



**新しい器具概要オブジェクト**

器具と吊り元の概要を効果的に作成、構成できます。

Symbol	Description	Count
Strand 8" Fresnelite @ 500750"		
ETC Sou		
ETC Sou		

Color	Size	Count
R26	6.25"	1
R369	10 1/8"	3
R53	6.25"	7
R57	10 1/8"	3
R60	6.25"	1
R65	6.25"	8

**リソースブラウザの器具ラベルを示すコンテキストメニュー**

照明器具上で右クリックし、この新しいコンテキストメニューオプションを使用すると、リソースブラウザ上の該当する器具のラベルを素早く表示することができます。

**S D**

**アクセサリに変換コマンドの自動関連付け**

この新しいコマンドで、配置したアクセサリを照明器具に関連付けします。

**S D**

**座席を作成コマンドで基準点 (座席の向き) の選択をサポート**

座席を作成コマンドに、座席列を基準点に向けた正確な座席レイアウトを作成することができるオプションを追加しました。基準点オプションは、座席レイアウトの編集集中にも使用できます。

**S D**

**ディマーおよびチャンネルによるTwo-Fer(配線)**

チャンネルごとのディマーで、自動的に two-fer 配線の照明器具にディマーとチャンネルを同期させます。

**S D**

## より高度なスクリプト記述

汎用CADを使用して、あなたのユニークな設計プロセスに取り組んだり、あなたのビジョンを表現するには根気が必要になります。スクリプトを使用することによって、いつも私たちの一部の顧客たちは、自らのビジョンを実現させるのと同時に、限られた時間と予算のバランスを取る方法を見いだしています。またそれらは、最高にクリエイティブな設計者たちに特別仕様のツールを提供する機会を私どものVectorworks Developer Networkに対して与えてくれます。今回、VectorworksはスクリプトにPython3のプログラミング環境を、そのOS、インターネット、分析、可視化などの深くにまで拡張するライブラリと共に提供しました。私たちのDeveloper Networkによる新しくダイナミックな結合設計ツールと、必要な時に使用できる社内用の有効なアプリケーション作成を可能にする自由な開発環境をお楽しみください。

### Python3 での Vectorworks スクリプト記述

この新しい機能は、次世代の革新的な Python スクリプト基礎を上げます。この Python スクリプトで、開発者はドキュメントスクリプトや外部プラグインパラメトリックオブジェクト、ツール、コマンドを作成することが可能になります。

**F A L S D**

### プラグインマネージャ

Vectorworks ベースのスクリプトとプラグインの管理を一貫して行うことができる、整頓され再設計されたプラグインマネージャがこれまでにない開発のしやすさを、あなたに提供します。

**F A L S D**



### Python3でのVectorworksスクリプト記述

Python3の対応によるカスタムスクリプト、オブジェクト、コマンドの作成をお楽しみください。

```

1 import vs
2 import tempfile
3 import urllib.request
4
5 import DialogHandler
6
7 vs.kObjPropasIUOverride = 0
8 vs.kObjOasCustomIgetVisibilities = 11
9
10 vs.kParametricRecalculate = 3
11 vs.kObjOnInitProperties = 9
12 vs.kObjOnInitProp = 41
13 vs.kObjObjectUIButton = 35
14
15 vs.kObjectEventHandled = -8
16
17 # Dialog Properties
18 kWidgetID_ImageText = 1
19 kWidgetID_HotLinkText = 2
20 kWidgetID_EditWebLinkButton = 3
21 kWidgetID_UpdateButton = 4
22
23 paramName =
24 paramHandle, paramRectHandle, wallHandle = 0, 0, 0
25
26 def execute():
27     # Open dialog
28     # system.setTrace(suspend=False)
29
30     [Global paramName, paramHandle, paramRectHandle, wallHandle
31     ok, paramName, paramHandle, paramRectHandle, wallHandle = vs.GetCustomObjectInfo( paramName, paramHandle, paramRectHandle, wallHandle )
32     if paramName == 0:
33         paramName = "Web Link Image"
34
35     theEvent, theButton = None, None
36     theEvent, theButton = vs.vsoGetEventInfo( theEvent, theButton )
37
38     if theEvent == vs.kObjOnInitProperties:
39         # Enable
40         ok = vs.SetObjPropVS( vs.kObjPropasIUOverride, True )
41         ok = vs.SetObjPropVS( vs.kObjOasCustomIgetVisibilities, True )
42
43     InitParameters()
44
45     #if theEvent == vs.kObjOnInitProp:
46         UpdateParameterState()
47
48     #if theEvent == vs.kObjObjectUIButton:
49         OnWidgetUIButton( theButton )
50
51     #if theEvent == vs.kParametricRecalculate:
52         EventHandler()
53
54     # Open the dialog
55     vs.OpenDialog( kWidgetID_ImageText, 10, vs.GetPluginString( 0000 ) ) # studio tool
56     # Add paramWidget( kWidgetID_HotLinkText, "WebLinkText" )
57     # Add kWidget( kWidgetID_EditWebLinkButton, 12, vs.GetPluginString( 0001 ) ) # button
    
```



### プラグインマネージャ

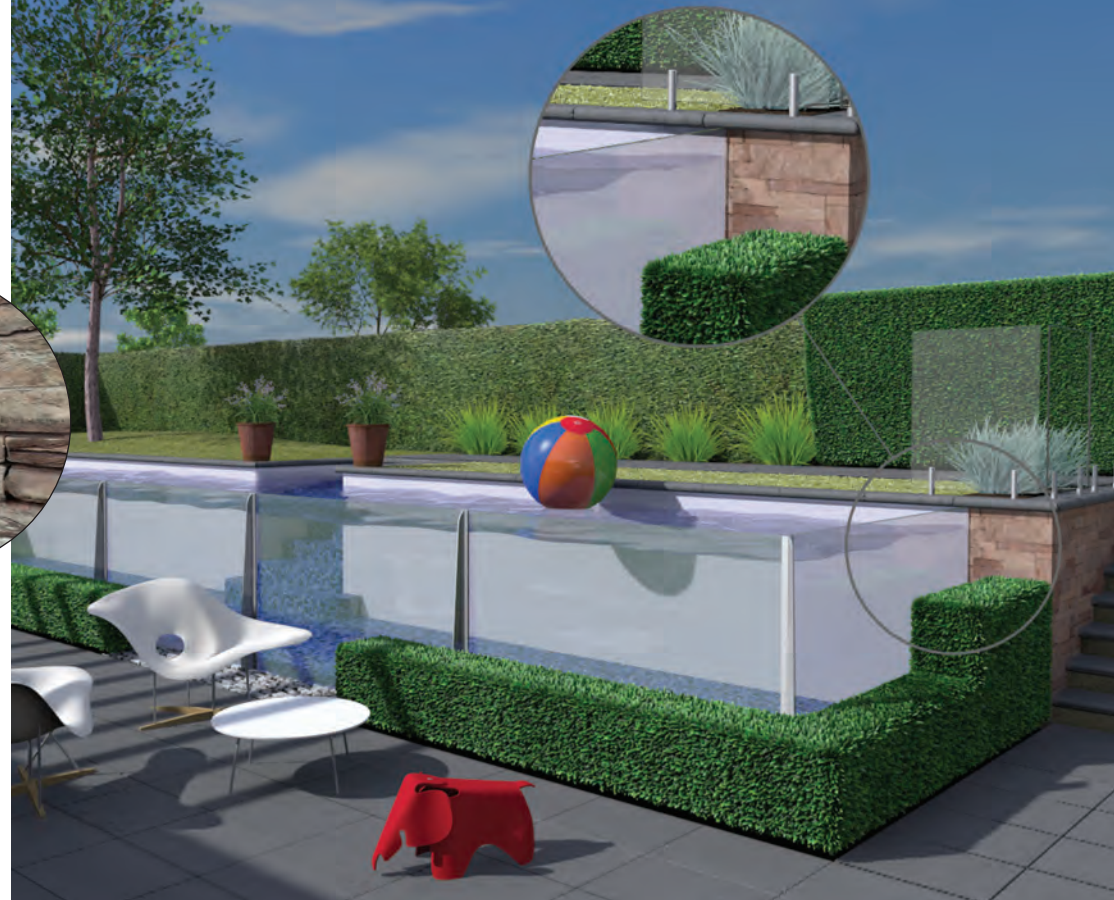
あなたのプラグインの情報を簡単にアクセスできるように、プラグインマネージャを整理、再設計しました。





## 強力なレンダリングツール

ビジネスではプロジェクトの様々な段階で、デザイン作業やプレゼンテーションを競わなければならない状況が多くあります。Vectorworksプラットフォームに組み込まれているレンダリングアプリケーション、Renderworks®は、Vectorworksの大きな利点であり、たとえ専門家でなくても、また十分な時間がなくても、素早く独創的で高品質のレンダリングプレゼンテーションを作成することができます。今回、バージョン2014では、全く段違いのレベルのクオリティに仕上げる新たな2つの機能を追加しました。



### ディスプレイメントマッピング

新しいディスプレイマッピング機能で、さらにリアルな内装や外装のレンダリングができます。



### ディスプレイメントマッピング

バージョン2014では、Renderworks ユーザが今まで見たことのないほどのレンダリング品質を体験できます。新しいディスプレイメントマッピングを使用すると、芝生やカーペット、水、レンガ、そして石など、新しい凹凸表現を実現し、様々なものをリアルに表現することができます。

R

### イメージを使用したレンガシェーダ

多くのすばらしい、そして新しいレンガのイメージがRenderworksで使用できます。あなたのデザインワークの中でいつでも使用、編集ができます。さらに、複数のレンガを表現する複数のイメージをコントロールすることができる新しいシェーダが、レンガやタイルの間の目地の不均一度制御機能と共に追加されています。

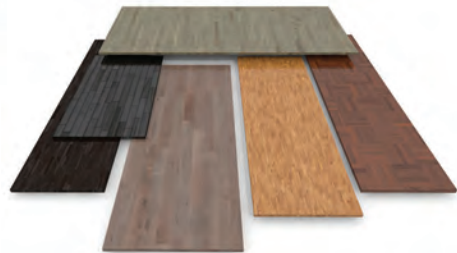
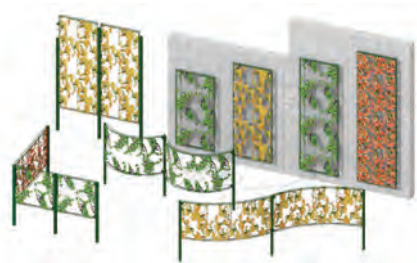
R

## VECTORWORKS サービスセレクト

増え続けるVectorworksユーザからの学習教材やVectorworksコンテンツ、モバイルコンピューティングへのニーズに応えるために、私たちは、Vectorworksサービスセレクトのメンバーに対するアドバンテージ向上に、引き続き力を入れています。このバージョン2014では、より多くのサービス向上に気づくことでしょう。さあ、早速、Vectorworksサービスセレクトポータルにログインして、この大きなアドバンテージの活用を始めてください。

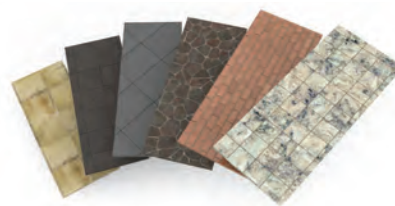
### 新しい Vectorworks ライブラリ

あなたのデザインを後押しする多種多様な新しいVectorworksシンボルライブラリと高品質のテクスチャライブラリを追加しました：



- Artinox & Franke Sinks
- Arroway Textures™ Wood volume 1
- Arroway Textures Concrete volume 1
- Arroway Textures Tiles volume 1
- Arroway Textures Wood Flooring volume 1
- Arroway Textures Bricks
- Arroway Textures Stonework 1
- Arroway Image Fills 1
- B&B Italia Bend Sofa
- Bradley Fixtures and Accessories
- Girsberger Office Furniture
- Greenscreen® Trellising System
- Japanese Residential Appliances

- Landscape Rocks and Boulders
- Residential Kitchen Appliances
- RINN Textures
- Scaffolding
- Updated Altman lighting
- Updated DTS lighting
- Updated ETC lighting
- Updated Martin® lighting
- Updated Mole-Richardson lighting
- Updated Robe lighting
- Updated Wybron lighting
- Vitra Eames Furniture
- New VBvisual plants



### 新たな Vectorworks プログラムデリバリー

Vectorworks サービスセレクトのメンバーになると、契約期間中の新バージョン製品提供を受けることができます。今日まで、私たちは Vectorworks パッケージをメンバーのみなさんにお送りしてきました。ただし、この方法ではお住まいの住所によって発売日以降のお届けとなったり、不在によって、なかなか手にすることができなかった方もいらっしゃいました。私たちはもっと早く、どこに居てもすぐに Vectorworks2014 ソフトウェアを使い始められるよう、発売日同日に、アクティベーション製品をご利用の方を対象に、Vectorworks サービスセレクトポータルを通じてのダウンロード提供、ドングルをご利用の方や、ネットワーク版のお客様にはパッケージをお届けします。

## VECTORWORKS 2014 新機能マトリックス

F Fundamentals    A Architect    L Landmark    S Spotlight    D Designer    R Renderworks

### 優れた3Dモデリング

高速なインタラクティブ表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ウォークスルーツールの強化	✓	✓	✓	✓	✓	
X線セレクトモード	✓	✓	✓	✓	✓	
テーパツール	✓	✓	✓	✓	✓	
ツイストツール	✓	✓	✓	✓	✓	
2D画面回転と3Dビュー		✓	✓	✓	✓	

### 高まるBIM性能

デザインレイヤ断面ビューポートを平面化するオプション		✓	✓	✓	✓	
クリップキューブからの断面ビューポート生成		✓	✓	✓	✓	
複製、または移動した壁の結合		✓	✓	✓	✓	
屋根の向上	✓	✓	✓	✓	✓	
スペースラベルのプロパティコピー		✓			✓	
ビューポートのマーカー設定		✓	✓	✓	✓	
特殊形状の窓		✓	✓		✓	
ドアの採光パネル		✓	✓		✓	
ドアと窓の吊り元方向マーカーオプション		✓	✓		✓	
階段の第三の側板		✓			✓	
階段の上階と下階で異なる矢印の方向		✓			✓	
オートハイブリッドの陰線オプション		✓	✓	✓	✓	
注釈記号の番号付け機能の向上		✓	✓	✓	✓	

F Fundamentals

A Architect

L Landmark

S Spotlight

D Designer

R Renderworks

## ファイル相互運用性の向上

パブリッシュコマンド	✓	✓	✓	✓	✓
IFC の強化		✓	✓		✓
プリント前にワークシートを再計算	✓	✓	✓	✓	✓
DXF/DWG の向上	✓	✓	✓	✓	✓
3DS・Parasolid X_T 取り出しのすべてのレイヤ指定オプション	✓	✓	✓	✓	✓
レコードフォーマットを分割/統合する新しいコマンド	✓	✓	✓	✓	✓

## 強力なレンダリングツール

ディスプレイメントマッピング					✓
イメージを使用したレンガシェーダ					✓

## 効率性の向上

画期的なビットマップイメージのクロップ	✓	✓	✓	✓	✓
表示設定ツールの向上	✓	✓	✓	✓	✓
基準面による類似図形選択		✓	✓	✓	✓
フォントプレビュー	✓	✓	✓	✓	✓
ミラー反転ツールのプレビュー	✓	✓	✓	✓	✓
引出線を整列コマンドの向上	✓	✓	✓	✓	✓
属性パレットの不透明度のプレビュー	✓	✓	✓	✓	✓
多角形/曲線を簡素化コマンド	✓	✓	✓	✓	✓
変形ツールの機能強化	✓	✓	✓	✓	✓
図形も頂点を素早く編集できるコンテキストメニュー	✓	✓	✓	✓	✓
中心と半径による長円モード	✓	✓	✓	✓	✓
反転したシンボルと他の図形の表示に関する警告	✓	✓	✓	✓	✓
ナッジ操作実行時のメッセージ表示	✓	✓	✓	✓	✓
整列していない寸法文字のオフセット	✓	✓	✓	✓	✓

F Fundamentals

A Architect

L Landmark

S Spotlight

D Designer

R Renderworks

## (効率性の向上: 続き)

未更新のビューポート枠を非表示	✓	✓	✓	✓	✓	
シートレイヤビューポートのモデル空間の縮尺測定	✓	✓	✓	✓	✓	
クラスとレイヤの「新規」作成オプション	✓	✓	✓	✓	✓	
シンボルダイアログボックスの向上	✓	✓	✓	✓	✓	
起点作成時のフローティングデータバー	✓	✓	✓	✓	✓	
寸法線と直列寸法線オブジェクトの統合	✓	✓	✓	✓	✓	
回転に連動する幅と高さのラベル	✓	✓	✓	✓	✓	
切断ツールとトリミングツールの「選択中の図形」モード	✓	✓	✓	✓	✓	
2D/3D シンボル Z 座標をデータパレット表示	✓	✓	✓	✓	✓	
Mac 環境下での陰線マルチスレッド	✓	✓	✓	✓	✓	
図形選択時の新しい検索条件	✓	✓	✓	✓	✓	
ヘルプメニューからオンラインリソースへのアクセス	✓	✓	✓	✓	✓	✓

## 舞台照明設計

照明器具オブジェクトの向上				✓		✓
フォーカスしている照明器具の選択				✓		✓
照明ボタンオブジェクト				✓		✓
新しい器具概要オブジェクト				✓		✓
器具ラベルの参照シンボルの変更				✓		✓
照明情報レコード (Light Info Record) の第 2 アンゲル類フィールドの精度を向上				✓		✓
吊り元変換時に自動的に高さを割当て				✓		✓
既存の照明器具から新しいラベルを作成				✓		✓
リソースブラウザの器具ラベルを示すコンテキストメニュー				✓		✓
アクセサリに変換コマンドの自動関連付け				✓		✓
座席を作成コマンドで基準点 (座席の向き) の選択をサポート				✓		✓
ディマーおよびチャンネルによる Two-Fer( 配線 )				✓		✓

F Fundamentals

A Architect

L Landmark

S Spotlight

D Designer

R Renderworks

## 土木造園設計

植栽の影の向上		✓	✓		✓
建物モデルの向上		✓	✓		✓
地形モデルの等高線ラベル位置の編集		✓	✓		✓
より正確になった敷地表面に移動コマンド		✓	✓		✓
植栽カスタムラベルの編集			✓		✓
植栽定義へのアクセス性の向上			✓		✓
レベル (平面) オブジェクトの向上		✓	✓		✓
造成図形の面積と体積の表示		✓	✓		✓
ジオリファレンスデータ位置調整の無効化		✓	✓		✓
地形モデルに壁をはめ込む		✓	✓		✓
レコードから変更コマンドの 2D 多角形 / 曲線を 3D 等高線に変更する新しいモード		✓	✓	✓	✓
Shape ファイル取り出し機能の向上			✓		✓

## より高度なスクリプト

Python 3 での Vectorworks スクリプト記述	✓	✓	✓	✓	✓
プラグインマネージャ	✓	✓	✓	✓	✓

## VECTORWORKS サービスセレクト

新しい Vectorworks ライブラリ	✓	✓	✓	✓	✓	✓
新たな Vectorworks プログラムデリバリー	✓	✓	✓	✓	✓	✓



Nemetschek Vectorworks, Inc.  
7150 Riverwood Drive, Columbia, MD 21046-1295 USA  
www.vectorworks.net  
T 410-290-5114 | F 410-290-8050

©2013 Nemetschek Vectorworks, Inc.  
Vectorworks, RenderworksおよびMiniCADはNemetschek Vectorworks, Inc.の登録商標です。  
SmartCursorおよびVectorScriptはNemetschek Vectorworks, Inc.の商標です。X線セレクトは特許出願中です。

エーアンドエー株式会社  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-15  
www.aanda.co.jp  
TEL 03-3518-0131 | FAX 03-3518-0122

## 推奨動作環境

Mac OS X Snow Leopard、Lion、Mountain Lion、Mavericks  
QuickTime 7.7.0 以上  
Intel Core 2GHz 以上

Windows XP SP3、Windows Vista SP2、Windows 7 SP1、Windows 8  
QuickTime 7.7.0 ~ 7.7.3  
Pentium 2GHz 以上

## 共通事項

推奨 4GB 以上の搭載メモリを推奨  
※ 「with Renderworks」は、8GB 以上を推奨  
1280 × 800 以上のモニタ解像度  
グラフィックボード VRAM：1GB 以上を推奨  
※ OpenGL 2.1 以上をサポートするグラフィックスボード  
DVD ドライブ (2 層式)

\* Vectorworks2014 では、グラフィック性能に対して、より多くを要求する拡張が含まれています。  
快適なナビゲーション動作、向上した OpenGL の影表示等の機能によってもたらされるグラフィック品質は、グラフィックスカードの速度とメモリの量に直接左右されます。これらの新機能は、十分なグラフィックス性能を持つハードウェア環境であれば、高速で滑らかな使用感を体験することができますが、古い、または適さないハードウェア上で使用すると、目に見えるほど動作が遅くなります。一般的に、グラフィックカードが高性能であればあるほど、Vectorworks の操作性は向上します。高速、かつ大きな占有メモリを搭載したグラフィックスカード (ボード) の使用を推奨します。

(記載の動作環境は、2013 年 12 月 1 日現在のものです。)